

小野弓郎教授退任記念号に寄せて

小野弓郎教授は、1966年に東洋大学経営学部設立とともに経営学部へ赴任され、東洋大学経営学部の発展のために永らく貢献されました。この間、経営学部にとって、中心的な科目である経営管理論を主に担当してこられるとともに、数度にわたり経営学部の各学科の主任を勤められ、経営学部の発展のために努力されてきました。まさに経営学部とともに歩んでこられたといっても過言ではない存在であります。また、教学部長、経営研究所長など各種の役職を通して、東洋大学の発展のために貢献されました。

小野教授は経営を人の組織と捉え、日本企業の特徴を見ていこうとされています。このため、日米の経営比較という観点だけでなく、同じ文化圏に属し、歴史的にも地理的にも深い関係のある韓国の経営と比較して研究することが大切であると考えられ、数度にわたり韓国を訪問され、それをもとに、韓国企業についての論文や、学会報告を行ってこられました。最近はさらに、中国の経営について研究され、それらを通して、日本企業の特徴を明らかにされようとしています。

東洋大学に赴任してからの期間が短く、先生とのお付き合いも短い者が、たまたま、先生のご退任の時期に、学部長の職にあるということでご挨拶を申し上げることになり、先生のお人柄、研究業績、大学への貢献何度について十分に理解していない点多々あるかと思われませんが、ご寛恕願います。

先生がいつまでもお元気で過ごしになれるよう心からお祈りいたします。

2003年1月31日

経営学部長 飯原慶雄